



近況のご報告

少し暑さも和らいで、過ごしやすくなってまいりましたが、皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

さて、私どもの会社は学校という性質上、比較的長い夏休みをいただいております。その間、普段できない会社の内装工事などを集中的に行いたいと常々思っていました。今回は、やっと手を付けることができました。今回一階ロビーのカーペット張り替えを中心に行い、これを機にスロープもつけ（日頃会員様にご指摘いただいている手すりは来月完成予定です！）、見ているだけでも、ワクワクしておりました。

そういった関係で、夏休みの間、色々な方々と面談をしたり、充実した期間を過ごすことができました。が、その後が、いけません。私は、詰めが甘いというか、肝心の時に役に立たないというか...。20日から学校も再開しておりますが、実は先日急性虫垂炎で入院して、現在私は病室でこの文章を書いているところです。休みの時にせつせと通い、行かなくてはならない時に、私はいない...恥ずかしいです...。今後はより一層体調にも気を使っていきたいと思っております。

そんな退屈な病室の中で、第100回の夏の高校野球

選手権大会を準々決勝からほぼ全ての試合を見ることができました。金足農業を見ると実に応援したくなる好チームだと思います。さらに各試合の最初に行われるレジェンド始球式は、最初から開幕試合は松井選手、準決勝の第一試合は桑田投手と決まっていたのですが、開幕第一試合に星稜高校（松井選手の母校）が、準決勝の第一試合には金足農業が入ったことに何か人智の及ばない凄い力を感じました。34年前のPL（桑田投手の母校）対金足農業を観ていた私としては、そこにくじを超えた偉大な力を見るようでした。

また、物騒な話題も多い中、理稀ちゃんの話も感動的でした。本当に無事でよかったです！ボランティアの尾島さんの真っ直ぐな行動力や経験の凄さに感動しました。期間が12日～15日という事で、もしかしたらご先祖様と遊んでいたのでしょうか...という話も日本人らしいですね。

いずれにしても真っ直ぐな思いというものは、本当に素晴らしいなと改めて思える夏休みになりました。これらのニュースの後の日本が楽しみです。

上山 伸治

月例会報告

8月7日の例会は、新栄の「烏魯木齊料理」にて毎年恒例の納涼親睦会を行いました。

今年の夏は飛び切りの酷暑、天気予報では「危険な高温」と警告されどう対処しようかと右往左往する毎日が続いています。八月の例会はそんな中 しばし「納涼」を求めての親睦会でした。

会場は「中国烏魯木齊料理」という店名も歴然 ウルムチ料理のお店です。次々に運ばれてくる料理はほとんどが羊肉のアレンジ。私たちのためにヒツジ一頭を買い切りということでした。新鮮な肉のためかスーパーで買ってくるラムやマトンのような臭みがありません。ライス料理「ポロ」から始まるどの皿もととてもおいしかった。特に店頭で焼いて

運ばれてくる串焼きにはみんなブラボー！

宴たけなわ、なごやかな談笑の続くなか 甲斐さんさっそうと登場、「オーソレミオ」をイタリア語で熱唱。そのあと なんと「オーソレミオ」の詩吟バージョンです。これには店の奥座敷で食事の一般客もあつけにとられてみんなこちらを振り向いていました。

最後に理事長から 酷暑の対応策としてお風呂の入り方のヒントをいただきました。「33度くらいのぬるい湯に就寝前ゆっくりつかると熟睡できる」と。さっそくその夜から実行しています。



内田稔氏の勉強会

毎月第三土曜日の14時から2時間、電波学園金山ビルの9階にて、内田稔氏による勉強会が開催されています。

現在は井波律子氏の「故事成句でたどる楽しい中国史」を中心に、中国の歴史に沿って登場する様々な故事成語を、順番に勉強しているところです。

太公望の「覆水盆に返らず」、管仲と鮑叔の「管鮑の交わり」、趙高

の「鹿を指して馬と為す」など、それぞれの時代背景や人物像なども含めて学ぶことができます。

井波律子氏の書籍だけでなく、それぞれの故事に関する資料や、内田稔氏の体験談もあり、中国史や故事成語が好きな方には見逃せない内容となっています。

ご興味のある方は、日中文化協会事務局(052-262-1410)までお問合せください。



こちらの書籍はAmazon等で購入いただけます。Kindle版も出ています。

成語故事コーナー

rúyú déshuǐ

如魚得水 (水を得た魚)

三国時代のお話です。その頃、曹操の勢力はとても強大でした。劉備は地方を治める一介の武将に過ぎませんでしたが、天下統一と漢王朝再興の夢を持っていました。

あるとき、劉備は徐庶から諸葛亮(字は孔明)という人物を紹介されました。

「孔明を軍師とすることができれば、貴方の天下統一の助けとなるこ

とでしょう。」

それを聞いた劉備は、2人の義兄弟、関羽と張飛を伴い、三顧の礼をもって諸葛亮を迎え入れ、軍師として彼を重用しました。劉備は諸葛亮に、軍隊を統率する一切の権限を与えたのです。

劉備のやり方に、関羽と張飛は納得できませんでした。彼らは劉備に尋ねます。

「何故、我々が諸葛亮に従わなければならないのだ？」

劉備は答えました。「私にとっての孔明は、魚にとっての水のように重要な存在なのだ。」その言葉のとおり、諸葛亮を得てからの劉備は多くの敵を打ち倒し、蜀の国を建てたのでした。



水魚の交わりで知られる、三国志の有名な逸話です。そのまま「水を得た魚」と読むと、日本語では少し違ったニュアンスになってしま

ますね。調べてみると、友情や信頼関係を表す中国の故事成語は、これ以外にも山ほど出てきます。日本語では

「飲み友」や「メル友」のような、限定的な関係を表す言葉は多いのですが、強い関係を表す言葉はなじみが薄いかもかもしれません。

漢方教室 92 血液サラサラ天然素材《1》

■ ナットウキナーゼ

1987年、須見洋行博士によって、納豆から「納豆キナーゼ」と呼ばれる成分が発見されました。

この納豆キナーゼは、大豆そのものには含まれず、発酵中の納豆菌によって作り出されたもので、納豆の



ネバネバの中に含まれています。納豆キナーゼには血液溶解作用のある酵素が含まれており、血栓を溶かす優れた効果が確認されています。

■ ブドウ種子

ブドウ種子油に含まれるリノール酸やオレイン酸には、悪玉(LDL)コレステロールを減らす働きがあるとされています。さらに、ブドウ種子に含まれるプロアントシアニジンには、毛細血管を強くし、血流を改善する働きがあるとされ、生活習慣病の予防・改善に効果があると期待されています。他にも視力や網膜を保護する効果、関節炎などの症状を緩和



する抗炎症作用などがあります。

日本安恵の『サラサラ』は、納豆キナーゼやブドウ種子など、血液サラサラに効果的な素材を理想的加工法で体にしっかり吸収できるように作られたサプリメントです。



ご興味のある方は

TEL 052-242-3930 まで
中統ビル3階 日本安恵株式会社

中国からの引き揚げ—思い出すがままに⑮

故国へ帰る引揚げ船に乗る日を釜山の港で何日も待ちました。私たちが引揚げる昭和21年当時の日本には、引揚げ船として使う船がほとんどない状態でした。主だった船は、爆撃されたり、魚雷攻撃を受けたりして、沈められていました。使える船は、わずかで、旧海軍の生き残ったわずかな艦船、病院船、民間から徴用した客船、貨客船、アメリカの上陸揚舟艇など、海外で帰国を待つ何百万もの在留邦人、復員兵を運ぶには、あまりにも少ない数でした。

帰国を待ちわびる釜山の港に「興安丸」という比較的大きな引揚げ船が入港しました。あんな大きな船に乗れるといいなと期待しながら待っていました。しかし、前から待っていた人たちが次々と乗り込むとやがて一杯になり、岸壁を離れ、行ってしまいました。乗って帰国できると待ち望んでいただけに、残念な気持ちでいっぱいでした。

それからまた何日か待ちました。ようやく私たちが乗る引揚げ船が入港してきました。前に出ていった「興安丸」に比べるとずいぶん小さな船でした。なんだか、古びた老朽船のような感じでした。それでも、いよいよ日本に帰ることができるという喜びでいっぱいでした。なけなしの身の回り品の詰まったリュックサックを背負い、期待を胸に乗船していきました。船は静かに岸壁を離れていきました。沖は白波がたち、初冬の海風は冷たく感じられました。

杉本 克治

8月誕生日の人の言葉

8月7日ちょうど納涼月例会の日が誕生日で80歳になりました。父母、祖父母、曾祖父母と明治時代までさかのぼってみるに 80歳まで元気に生き延びた先祖がいません。

今のところ何とか元気で80歳到達一番乗りです。ありがたいというべきか高齢化時代を痛感します。

石川 知子



杉原直さん アパ・アマ体操を熱血指導

わが丹羽郡扶桑町には、おおむね65歳以上のお年寄りを対象として活動しているサロンがあります。認知症予防や転倒防止などを目的として地区単位で運営をしています。

わたしの住んでいる地区にも「くすの樹」というサロンがあり、頭の体操や折り紙、ロコモ予防体操、コグニサイズなどを取り入れた活動を、毎月第2水曜日に行っています。参加者の最高齢が96歳、平均年齢は80歳を超えています。

サロンができて、今年の7月で丸5年。何か記念行事と思い、6月の日中文化協会の例会で杉原さんに、「4年前に教えていただいたブータンの「アパ・アマ体操」を、記念行事の目玉としたいので、もう一度基礎から教えてもらえないか」とお願いしたところ、快諾を得ました。というのも、この体操を毎月、サロンでラジオ体操の代わりに欠かさずやってきており、もう一度基礎から教わりたいという思いもあったからです。そして7月11日の記念例会で、杉原さんに来

ていただき、熱意と情熱ある熱血的な指導を受けました。終わったときには出席者全員が汗をかき、息を弾ませていました。5周年記念行事が無事遂行できたことに、改めて杉原さんにお礼を申し上げます。

なお、この様子は7月30日から1週間、春日井地区のケーブルテレビで放映されました。写真は、そのときに写したものです。

熊谷 光



※ロコモ：ロコモティブシンドローム（骨・関節・筋肉など体を支えたり動かしたりする機能が低下し、要介護や寝たきりになる危険が高い状態を言う。）

お知らせ

★9月例会

日時：9月4日（火）18：00～

講師：ウンドス氏（馬頭琴演奏者）

★JCCA 中国語サロン

日時：9月1日（土）15日（土）14：30～

★日本語広場

日時：9月11日（火）14：30～

★10月例会

日時：10月2日（火）18：00～

★11月例会

日時：11月6日（火）18：00～

上山学院日本語学校スピーチ大会報告

7月30日、留学生によるスピーチ大会を開催しました。今回の日中文化協会賞は雷宇さん(中国)とマハルジャンリタさん(ネパール)が受賞しました。雷宇さんのテーマは「私の好きな言葉」。それまで一生懸命ということ意識せずに生きてきたが、自動車についてレポートをするという自分の好きな仕事を始めた時、初めて「一生懸命」という言葉を意識し、好きになった、という内容でした。リタさんのテーマは「日本に来て驚いたこと」で、日本のトイレが無料で使用でき、清潔であることと、日本人の男性が女性の鞆を抵抗なく持ってあげることに驚いた、という内容でした。選考にご協力いただきました会員の皆様にはありがとうございました。

日中共同建設桜友誼林保存協会 30年

日中共同建設桜友誼林保存協会は、故・長谷川清巳さん（鈴鹿市出身）が1986年に設立しました。長谷川さんは42年から中国各地を転戦してけがを負い前線の野戦病院に入院。体重は28キロまで落ちました。帰国後「過去の戦争を教訓として、平和を願う日本人の心を形にしたい」と考えるようになりました。

協会は88年から毎年江蘇省無錫市を訪れ桜の苗木を植える活動をしてきました。30年にわたる活動の参加者は延べ1万人を超え、これまでに3万本の桜を植えました。今では無錫市の太湖を望む公園は中国でも一、二を争う桜の名所となっており、日中友好交流の象徴となっています。

お問合せ：新發田（しばた）さん（080-9506-4510）

9月例会

・日時：9月4日（火）

18：00～ 中国語で話そう会

18：50～ 馬頭琴演奏

演奏者：ウンドス氏

19：45～ 茶菓での交流会

・会場：中統奨学館ビル4階

・ウンドス氏プロフィール

馬頭琴演奏者・ホーミー歌手。中国内モンゴル出身のモンゴル族。

2007年18歳から馬頭琴を始め、2008年に日本へ留学しました。来日後も練習を積み重ねて、演奏活動をするようになりました。現在は仕事をしながら、モンゴル民族の音楽や文化を紹介する活動をしています。



記事の感想等も募集しています！

日中文化協会編集局では、記事の投稿だけでなく、掲載された記事についての感想や意見・要望等も募集しています。メール、電話、FAXなど、どんな方法でも、お気軽にご連絡ください！

編集局

編集局では現在、携帯電話番号、生年月日、E-Mailアドレスのご登録を推奨しています。イベントのご案内、「誕生日の人の言葉」の掲載、WEBサイト更新の通知などに使用致します。china@chuto.co.jp宛にご送付ください。ニューズレターは、WEBサイトにてカラー版を公開しています。郵送不要の方は「郵送不要」とご連絡ください。



〒460-0008 名古屋市中区栄4-16-29 中統奨学館

TEL：052-262-1410 FAX：052-262-5036

一般社団法人日中文化協会

編集長 上山耕治